

# こども達!!



## 「少年の主張埼玉県大会」に2人出場!

8月18日(日)に開催された、「令和6年度少年の主張埼玉県大会」に秩父市立大田中学校1年の新井望垂さん(大田小学校出身)、埼玉県立秩父高等学校1年の関根怜愛さん(尾田蔭中学校出身)が出場しました。新井さんは、「中学生の部」15, 189名の応募者の中から、関根さんは、「高校生・一般の部」1, 882名の応募者の中から、各部門5名の発表者にも選ばれました。

新井さんの作文「BRIDGE」、関根さんの作文「地球の未来を考える」は、令和5年度に青少年育成秩父市民会議主催の「未来を担う私たちの主張(青少年の主張)」作文コンクールの入賞作品でもあります。



新井さんの作品は、「自分が秩父とアメリカの架け橋になって、秩父にいる外国の人に秩父を好きになってもらいたい、アメリカや世界の人に秩父を知ってもらいたい」という夢を実現するために、日本の文化や歴史を学ぶほか、常にチャレンジ精神をもって前向きに取り組みたいという内容でした。



関根さんの作品は、SDGs 14項目「海の豊かさを守ろう」について、皆がなげなく使っている日焼け止めの成分が海を汚染し、サンゴ礁が死んでしまうという事実を衝撃を受け、サングゴを守る取り組みの紹介のほか、より良い地球の未来を守るため、豊かな恵みをもたらしてくれる海を守るため、地球にやさしい取り組みに参加したいという内容でした。

大会では、両名とも、堂々と前を向いて作文を発表し、自分の考えや思いを来場した方々に伝えていました。

### ~あいさつ運動を実施~

あかるく いつでも  
さわやかに つづけて

青少年育成秩父市民会議では、「あいさつ」「声かけ」を積極的に推進し、8月26日(月)から9月1日(日)までを「あいさつ運動推進週間」と定め、児童生徒の登校時間に合わせて、学校や街頭で、「あいさつ運動」を実施しました。

## 第44回 秩父市青少年健全育成推進大会を開催!

11月9日(土)、青少年育成秩父市民会議主催の「第44回秩父市青少年健全育成推進大会」が開催されました。さまざまな活動を通して、他の模範である各加盟団体から推薦された51名・1団体へ感謝状贈呈および表彰を行いました。あわせて、「未来を担う私たちの主張(青少年の主張)」作文コンクール入賞者30名への表彰、上位入賞者が入賞作文を朗読すると、夢や希望に満ちた素晴らしい作文に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



朗読する入賞者が、夢や希望に満ちた素晴らしい作文に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

### 〈表彰内容〉

- 青少年育成特別功労者 2名
- 青少年育成功労者 8名
- 優良青少年団体 1団体
- 優良青少年41名
- 「未来を担う私たちの主張」(青少年の主張) 作文コンクール入賞者 30名



# が ん ば る

## 第56回交通安全こども自転車全国大会で 秩父第一小が団体優勝&個人の部で活躍！

1番走者 岩崎 楓さん  
(個人5位)

大会に向けて練習で心がけたことは、その大会会場の作りをイメージしながら走ることです。そうすることで大会当日いつもよりうまく走ることができたと思います。全国大会では、仲間の応援がすごく自分の力となり、いい走りができたとと思います。

2番走者 江原果穂さん  
(個人2位)

私は、自転車大会で日本一を成し遂げるために、去年の準優勝でも悔しく泣いたことを忘れずに、力に変えることができるように練習に励みました。県大会のミス



を克服できるので、全国大会ではその成果を全て出すことができ、日本一になりました。

3番走者 岩崎 湜さん  
(個人優勝)

ぼくが全国大会で走ってみて感じたことは、緊張しても楽しむつもりで走ればいいということです。そのことをコーチが教えてくれました。あとは、やってきたことや仲間やコーチなどを信じて走りぬけるだけだと思つて、それでうまく走れました。不安や緊張はほぐすことが大切だと実感しました。

4番走者 荒木愛那さん  
(個人12位、県大会個人優勝)

私は大会当日4番走者でした。4番走者は走るまでの時間が長く、前に走つた3人がとても良い成績で帰ってきたので、自分は失敗しないかと不安でした。しかし、メンバーのサポートで自分の力が出し切れて



よかったです。個人の成績はくやしかったけど、団体優勝はできてよかったです。

## スケアードストリート教育技法による 自転車交通安全教室

7月18日、夏休みを直前に控え、交通ルールと正しい交通マナーの理解を深め、交通安全意識の高揚を図ることを目的として、スケアードストリート教室技法(スタントマンによるリアルな交通事故の再現)による自転車交通安全教室を影森中学校で実施しました。これは、埼玉県教育委員会、秩父警察署、影森駐在所、(株)ワール様のご協力により実現しました。



当日は、スタントマンによるリアルな交通事故の再現を行うことにより、交通事故の怖さを実感



交通安全のポイントとして、①徐行、②一時停止、③左右確認を徹底することが挙げられます。さ

らに、一人一人が自転車のルールを守り、自転車が周りに気をつければ限りなく事故を防ぐことができることを学びました。